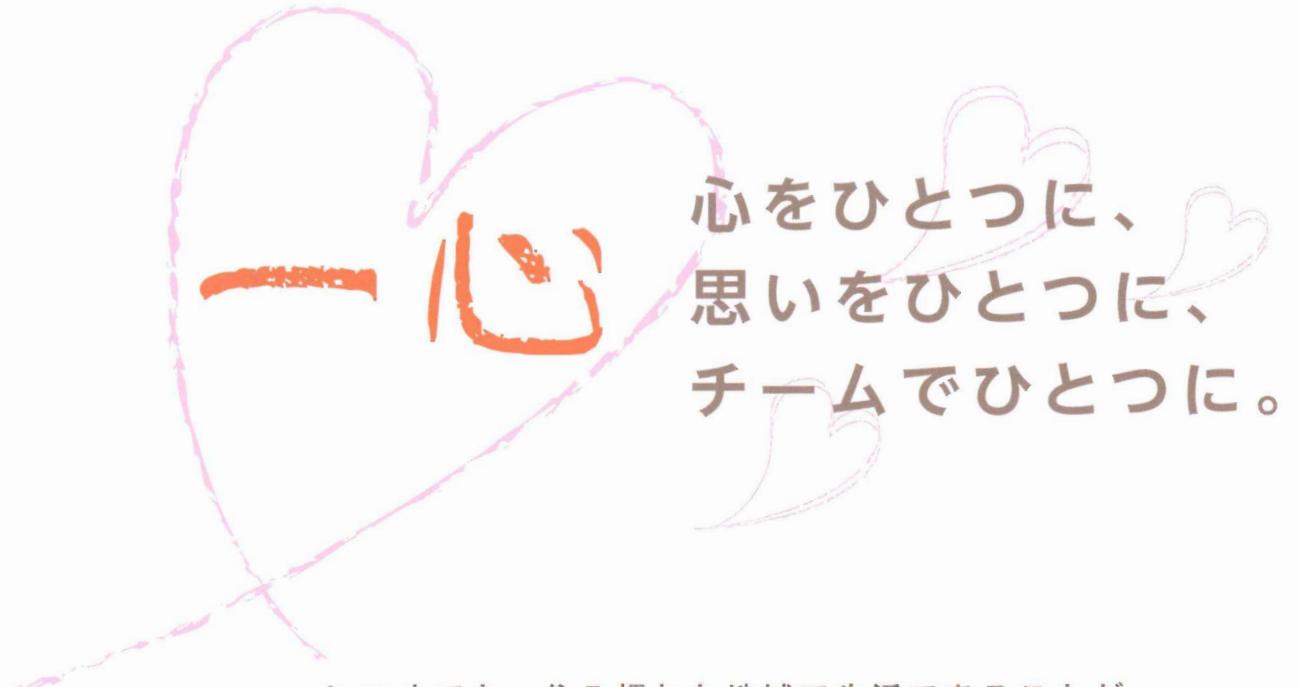




訪問看護師
求人案内

心とともに

社会福祉法人 明照会
あそか苑
中山寺訪問看護事業所



心をひとつに、
思いをひとつに、
チームでひとつに。

いつまでも、住み慣れた地域で生活できることが、
利用者様にとって最高のやすらぎであると私たちは考えます。

押しつける看護ではなく、
“寄り添ってくれることで安心できる”

利用者様やご家族にそんな風に

感じてもらえることが、私たちの目指す看護です。



—あそか苑中山寺訪問看護事業所—



人の心を尊重できる
職場をつくるために



全職員が教育係!

私達はスタッフそれぞれのもつ個性をとても大事にしています。誰もが新人時代は不安な気持ちでいっぱいです。1人の教育担当者があなたをサポートするのではなく、**個性溢れるスタッフが全員であなたをフォロー**していきます!

みんなが前を向いている

日常の業務はもちろん大変ですが、**地域で一番愛される訪問看護事業所になる**という目標に向かって、スタッフ一丸となり顔を上げて笑顔で突き進んでいます!

仕事への向上心を忘れない

私たちの職場では、提供するサービスの料金を全スタッフが把握することをルールとしています。対価としてどれだけのサービスを提供する必要があるのかを考え、**スタッフ全員が意識して取り組む**ことでスキルアップを目指します!

看護師の道以外、考えていませんでした

現場のストーリー -先輩達のvoice-.1

小さい頃から看護師になりたいと思っていました。誰かの役に立ちたい、私だからできる事をしたい。そんな想いから看護学校に入学し、そこで訪問看護という仕事に出会いました。憧れだけでできない、現実の厳しさや難しさ、そしてやりがいを教えてくれるのは、現場の経験です。



患者さんから教えられた看護師の本質

学生時代の実習で、受け持たせて頂いた患者様に「あなたに私の気持ちなんてわからないよ」と言われたことがあります。その頃はどうしたら良いのか分からず、とにかく毎日患者様の元に通いました。実習が終わり、指導者よりその方が亡くなられた事と「あの子に私の気持ちは分からないけれど、分かろうしてくれた」と話してくれていた事を聞き、力不足の悔しさと、医療的処置やケアをするだけではない、寄り添う事の大切さを感じました。



アットホームな環境だからこそ成長させてくれる

自分らしく生活できる自宅で過ごしたいと願う事は自然なことです。しかし、24時間医療スタッフが隣にいるわけではなく、難しい処置や一人暮らしという環境、家族の不安などから、自宅での生活を諦めざるをえない患者様は多くいらっしゃいます。そんな方も自宅で安心して生活できるように支える訪問看護に魅力を感じています。訪問看護は一人で現場に向かい、適切な処置や判断が必要とされます。病院では直ぐに先輩看護師や医師に相談できることも、訪問中は自分一人で看なければなりません。本当にこれで良かったのか、何か見逃していないか…初めは不安ばかりでした。そんな時「大丈夫!」と背中を押してくれるのが、この職場の先輩方です。落ち込んでいると他職種の方でも声をかけて下さり、アドバイスをくれる。現場に向かうのは一人でも背中に先輩方がついてくれている心強さがあり、日々の経験が少しづつ私を成長させてくれます。

現場のストーリー -先輩達のvoice-.2

患者さんの自宅での生活に疑問が

看護師歴 7年 訪問看護歴 5年目

小学生の頃、祖父が入院していた病院スタッフの対応が余り良くなかったので、私が将来看護師になって少しでも医療の現場で患者さんとご家族にとってより良い対応ができる看護師になりたいと思ったことがきっかけで看護の勉強をしました。看護師のスタートは大学病院で癌病棟の勤務になり、少しでも早く一人前になれるように毎日先輩について勉強して、1年が経とうとした頃にふとした疑問が湧いてきました。私が接している患者さんは自宅ではどのように過ごされているのか、そこから在宅看護に興味を持ち、訪問看護の仕事をしています。



看護師として成長したい

学生の頃に実習のこと、当時は右往左往しながら現場で看護師の仕事について必死に勉強をしていました。その時に胃癌末期の患者さんとの出会いが、私の看護感について大きな影響を与えてくれました。嘔吐、痛みと闘うご本人を目の前に、私は看護師や医師を呼びに走り回り、嘔吐するご本人の背中をさすり、側に居ることしか出来ませんでした。実習終了後、すぐに亡くなられたのですが、先生から「誰よりもあなたが側に居てくれて安心出来た」とご本人が残されたお手紙をもらったことがとても励みになり、これからも看護師として成長していきたいと強く思った瞬間でした。当時の手紙は今も大切にしています。



いつも背中を押してくれる

訪問看護の現場では大変なこともあります。その度にいつも先輩に励ましていただきたり、アドバイスをもらったり「あなたがしっかりしないといけないよ」と叱咤激励を受けながら、自信がなくて悩み苦しみもがいたけどやってきたことは間違いないと教えてもらっています。いつも背中を押してくれる先輩がたくさんいます。一人前に少しでも早くなり、先輩に追いつき教えていただいたことを後輩にも受け継いで行きたいと思います。



医療の仕事で人と関わる

理学療法士歴5年
訪問歴2年目

現場のストーリー -先輩達のvoice-3

母の友人から理学療法士の仕事について話を聞くことがあり、医療の仕事で幅広く人と関わることができ、人の役に立ちたいと思ったことが理学療法士の勉強を始めたきっかけです。学校を卒業してから一般病院に就職しリハビリについて学びました。業務はとてもハードだったので、リハビリをすることで患者さんの良くなる姿を見ることがやりがいになり、知識を深めることができますように日々取り組みました。現在は、病院で培った経験を元に訪問リハビリをしています。訪問では、直接的リハビリや住環境の整備など在宅でその方がその人らしく生活するためいろいろな手段を使って、利用者様にとって最善のリハビリを心掛け、提供できるように取り組んでいます。



良い関係づくり

訪問に伺うことで、実際に困っている生の声を聴きながら、病院などで行うリハビリとは違う難しさであったり、またご本人だけではなく、ご家族の方に話を聞く機会もありますので、そのなかで利用者様にあった方法は何かを考えていくことがとても大切になります。私は利用者様が「生きがいを感じていただく生活」「その人らしい生活」を在宅で送っていただけるように専門職として良い関係づくりをすることで、信頼関係が生まれリハビリの効果を感じていただきたいと思っています。



信頼される理学療法士に

いつも利用者様の笑顔を心がけ試実に対応することをモットーに訪問リハビリを行っています。悩みや問題と一緒に考えできなかったことができるようになったときに一緒に喜び合えることで、利用者様から信頼される理学療法士になり、いろいろな視点から理学療法を経験して、これからも自分の考え方や視野を広げていきたいと思います。



あそか苑中山寺

訪問看護の1日をご紹介します！

今日も1日
頑張りましょう！



訪問看護の1日の主な流れです。職員一同楽しく一生懸命に仕事をしています！



9:00 朝礼

おはようございます!
今日も1日頑張りましょう!



9:10

訪問(午前)

それぞれ利用者様宅でケアを行います。
だいたい2~3件のお宅を訪問します!



11:30 報告

訪問先であった事を報告したり、
記録したりします。



12:00

お昼休み

みんなで仲よくランチタイムです。



13:00 訪問(午後)

午後からも利用者様宅へ
訪問に行きます!



16:30

カンファレンス

今日の訪問での
出来事をみんなで共有する時間です。



支援制度

個々の成長に合わせた支援

日々、自己成長を実感でき明るく楽しく仕事をしていくようにさまざまな取り組みを行っています。看護師としての専門知識や技術を段階的に身につけられるよう研修会・講演会などへの参加機会も積極的に提供し、スタッフ全員でバックアップする支援体制も整っています。看護の質の向上に向けて可能性にチャレンジする看護師を応援します。

血圧計 聽診器 パルスオキシメーター
体温計 ガーゼ テープ各種
ファイル S字フック 注射器
紺創膏 ワセリン アルコール綿
駆血帶 消毒液 陰洗用ボトル
スリッパ タオル その他もろもろ



※上記1日の流れは一例です。



中山寺訪問看護

検索



社会福祉法人 明照会

あそか苑中山寺訪問看護事業所

〒665-0863
宝塚市三笠町6-21

TEL.0797-85-9156 FAX.0797-85-9166

